

1. 略歴

- 1993年3月 一橋大学社会学部卒業
1994年4月 東京大学大学院 社会学研究科社会学専攻 修士課程入学
1996年3月 同 人文社会系研究科社会文化研究専攻 修士課程修了
1996年4月 同 博士課程進学
2001年3月 同 博士課程単位取得退学
2001年4月 博士(社会学)学位取得(東京大学)
2001年4月-2007年3月 立命館大学産業社会学部助教授
2005年9月-2006年9月 フランクフルト大学社会研究所客員研究員
2007年4月-2008年3月 立命館大学産業社会学部准教授
2008年4月 明治大学情報コミュニケーション学部准教授
2011年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

理論社会学 社会学史研究

b 研究課題

- (1) フランクフルト学派の学説史研究
- (2) コミュニケーション理論、承認理論に基づく批判的社会理論の展開
- (3) 日本の社会学史の再評価と海外への紹介

c 概要と自己評価

- (1) エーリッヒ・フロムの理性概念とそれに基づく社会批判の再構成を行っている。その成果を国際エーリッヒ・フロム協会主催の国際会議で報告、論文として発表した。現在は後期フロムのナルシズム論の再評価を行う一方、後期ヒューマニズムを生成の哲学の観点から再構成する作業に取り組んでいる。
- (2) 現代資本主義の構造的特質を理論的に解明する。「資本主義的近代化のパラドックス」や現代社会がかかかえる社会病理の諸相を承認論、コミュニケーション論の観点から分析している。
- (3) 欧米の社会学理論を背景に戦後日本で発展した社会学理論の独自性に注目し、その現代的意義を再評価すると同時に、国際会議の場で世界に発信している

d 主要業績

(1) 論文

Takeshi Deguchi, 「Beyond Shame and Guilt Culture to Globalised Solidarity: Reappraising Keiichi Sakuta's Sociology of Values as a Galapagosized Sociology」、『Theory (Autum/Winter 2014)』、2014

出口剛司、「越境する知と生の技法—フロムにおける『無意識』と知の生成をめぐる」、熊野純彦・佐藤健二編『人文知3：境界と交流』、pp.19-24、2014.9

Takeshi Deguchi, 「Erich Fromm and Critical Theory in Post-War Japanese Social Theory: Its Past, Present, and Future」、『Funk, R., McLaughlin N., (eds), Towards a Human Science: The Relevance of Erich Fromm for Today, Psychosozial-Verlag』、pp. 219-232、2015

出口剛司、「栗原社会学における社会意識の構成と自明性による支配—戦後日本における管理社会論の展開」、明治大学情報コミュニケーション学研究所編『情報コミュニケーション学研究』第16号、pp.1-15、2016年3月

(2) 学会発表

国際(招待講演)、Takeshi Deguchi, 「Erich Fromm and Critical Theory in post-war Japanese social theory: its past, present and future」、International Erich Fromm Research Conference、Berlin International Psychoanalytic University、2014.6

国際、Takeshi Deguchi, 「Beyond Shame and Guilt Culture to Globalised Solidarity: Reappraising Keiichi Sakuta's Sociology of Values as a Galapagosized Sociology」、ISA World Conference of Sociology、2014.7.14

国際、Takeshi Deguchi, 「Critical Theory and Its Development in Post-war Japanese sociology」、ISA World Conference of Sociology、Pacifico Yokohama in Japan、2014.7.19

国際（招待講演）、Takeshi Deguchi、「New Individualism as a New Spirit of Capitalism: Emancipation from Fetters or Dissolution of Solidarity?」、For and Against the New Individualism: 10 Year Anniversary Celebration、Hawke Research Institute, University of South Australia、2014.8

国際、Takeshi Deguchi、「Beyond Shame and Guilt Culture to Globalised Solidarity: Reappraising Sociological Theory of Keiichi Sakuta」、2014 SNU-UT Joint Sociological Forum、Seoul National University、2014.11

国際（招待講演）、Takeshi Deguchi、「Critical Theory and Sociology in post-war Japan: From Critique of Imperial Fascism to Neoliberal Capitalism」、The International Workshop on Recognition Theory, On the 11th - 12th March 2016 at the Joongmin Foundation for Social Theory in Seoul, Korea.

国際（招待講演）、Takeshi Deguchi、「Critical Theory and Sociology in post-war Japan: From Critique of Imperial Fascism to Neoliberal Capitalism」、The International Workshop on Recognition Theory, On the 14th March 2016 at Chung-Ang University in Seoul, Korea.

国内、出口剛司、「日本型管理社会論の展開—栗原彬における〈やさしさ〉の社会学」、日本社会学理論学会大会（一般報告）、関西学院大学、2014年9月6日

国内（司会）、出口剛司、「社会学理論の最前線—時間」、日本社会学史学会大会（シンポジウム）、京都大学、2014年6月28日

国内（司会）、出口剛司、「支援するもの／されるもの—やさしさと政治の社会学」、日本社会学学会大会（若手フォーラム）、神戸大学、11月22日

国内（司会）、出口剛司、「戦後日本社会学の（再）発見—境界へのまなざし／境界からのまなざし」、日本社会学学会大会（シンポジウム1）、早稲田委大学、2015年9月20日

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科、「社会的人間論」、2013.4～

非常勤講師、明治大学情報コミュニケーション学部、「コミュニケーション基礎」、2013.4～

非常勤講師、立教大学社会学部、「社会学史」、2013.4～

非常勤講師、中央大学法学部、「現代社会理論」、2013.9～

(2) 学会

国内、日本社会学学会、役員・委員、研究活動委員、2012.4～2015.9

国内、日本社会学理論会、役員・理事、運営委員長、2014.9～

国内、日本社会学史学会、役員・理事、研究担当、2014.6～

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター、運営委員（学外委員）、2012.1～